

## 財務ハイライト

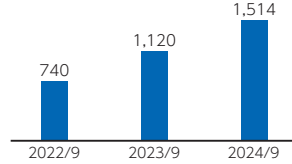
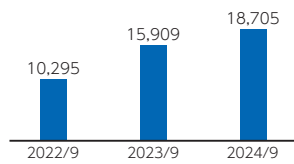
## 決算のポイント

中小案件を中心に積み上げた結果、前年同期比で順調な成長を遂げることができました。

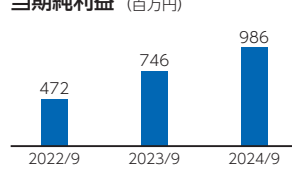
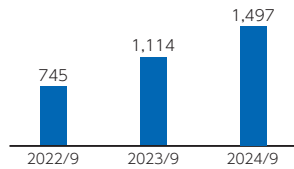
- イニシャル:11,907百万円(前年同期比 7.1%増)
- ストック : 1,737百万円(前年同期比39.7%増)
- フィー : 3,709百万円(前年同期比54.8%増)
- スプレッド: 1,349百万円(前年同期比17.2%増)

売上高 (百万円)

営業利益 (百万円)

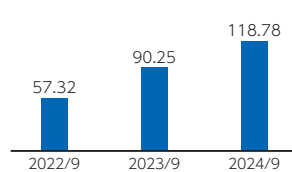
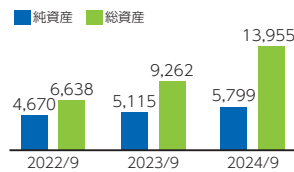


経常利益 (百万円)

親会社株主に帰属する  
当期純利益 (百万円)

総資産／純資産 (百万円)

1株当たり当期純利益 (円)



## KPIの推移

## ■ アクティブID数(単4Q)

375,348ID

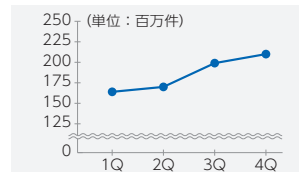
(前年同期比 +25.6%)

アライアンスパートナーを通じた新規加盟店の獲得により決済端末販売および稼働が順調に進み、着実にKPIを伸ばすことができました。

## ■ 決済処理件数(単4Q)

2億 1,066万件

(前年同期比 +45.9%)

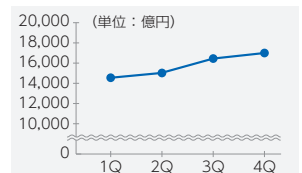


## ■ GMV

(決済処理金額)(単4Q)

1兆 7,000億円

(前年同期比 +42.5%)



## ホームページのご案内



決算説明資料や各種開示資料等のタイムリーな情報提供に努めています。ぜひ、ご覧ください。



下記URL、もしくはQRコードからアクセスください。

<https://gmo-fg.com/>

## 会社概要

(2024年9月30日現在)

会社名 GMOフィナンシャルゲート株式会社  
(GMO Financial Gate, Inc.)  
代表者 代表取締役社長 杉山 憲太郎  
設立 1999年9月7日  
資本金 16億3,868万円  
従業員数 123名(連結)

## 株式の状況

(2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 28,761,360株  
発行済株式総数 8,339,480株  
株主数 2,548名

## 株主メモ

証券コード 4051  
上場証券取引所 東京証券取引所 グロース市場  
事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで  
定時株主総会 毎年12月  
基準日 毎年9月30日  
1単元の株式数 100株  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
郵送物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
おおよび電話照会先 TEL:0120-782-031(通話料無料)  
公告掲載方法 電子公告により行います。  
事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
公告掲載URL: <https://gmo-fg.com/>

GMO FINANCIAL GATE

決済が変わると  
世界が変わる。

Cashless Open up a New World.



Business Report

2024年9月期 2023.10.1 ▶ 2024.9.30

# 株主の皆様へ

中期経営計画は  
1年前倒しで進捗。  
継続的な利益成長に向け  
大口案件の積み上げに注力



代表取締役社長  
杉山 憲太郎

## 大口案件向け決済ソリューション開発を強化。 中小案件も着実に積み上げ市場シェア拡大が進む

2024年9月期は断続的な自然災害、物価高騰、円安進行、世界情勢の緊迫化など不安定な要素がありつつも、訪日外国人数の順調な増加が対面決済市場の拡大に貢献しました。

そのような状況のもと、当社グループはVertical × Horizontal展開による決済ソリューション提供が奏功し、稼働率が高く決済ボリュームが多い加盟店様の新規獲得が進みました。また複数の業種・業態を有する大手企業グループ様への提案を強化し、クロスマーチャント、クロスインダストリーなソリューションアセットの提供を行うことで、決済エコシステムの形成に努めました。

同時にインバウンド旅行者客対応や省人化対応を目的とした中小加盟店様のキャッシュレス導入ニーズは引き続き高く、規模や業種問わずアクティブIDを積み上げ、市場シェアを拡大させることができました。

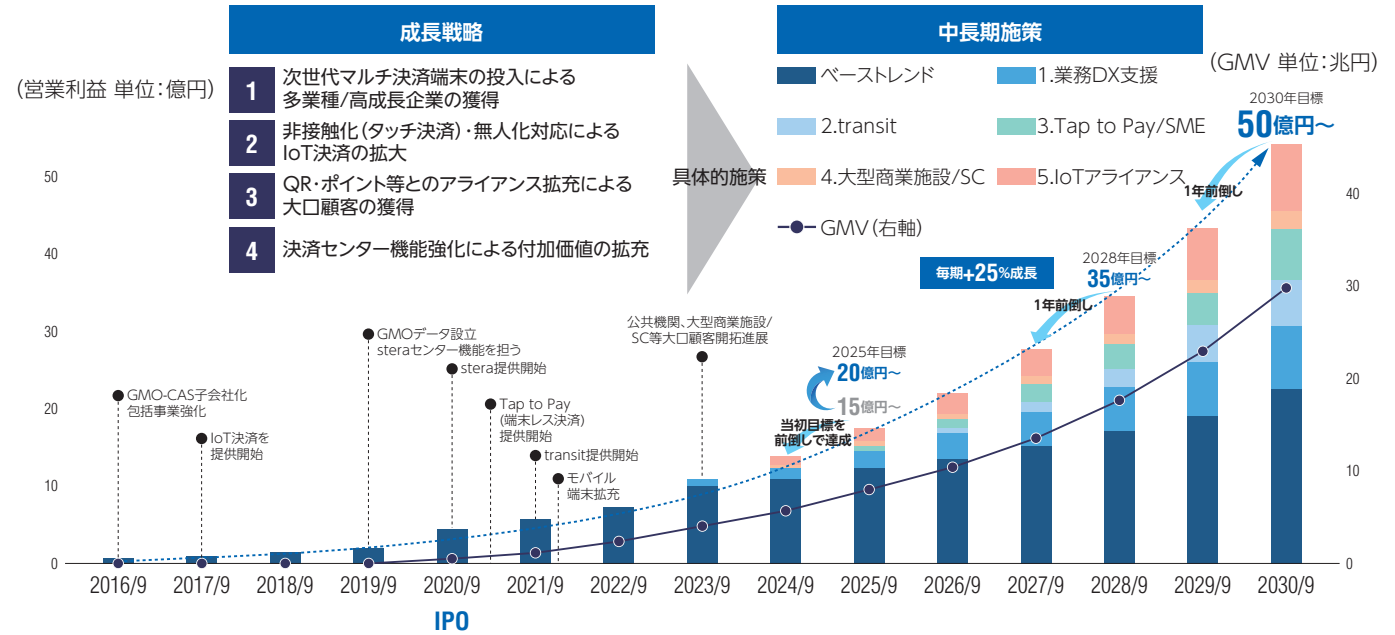
当社グループは引き続き、必要不可欠な社会インフラである「キャッシュレス決済」を担う企業として、株主の皆様への期待に応えるべくより一層邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの事業活動に引き続きご理解いただき、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

# 中長期 業績目標は1年前倒しで進捗

営業利益目標を1年前倒しで達成。2030年・営業利益目標50億円の達成確度が向上。  
大口案件に対する営業アクティビティの強化、決済周辺領域への業容拡大推進により、盤石なリカーリング型収益基盤の構築を目指す。

## 営業利益 成長曲線



昨年新たに策定した中長期業績目標は前倒しで進捗。キャッシュレス決済市場の拡大により既存加盟店様及び既存事業によるベーストレンドの成長が見込まれる中、加えて新規施策によるパイプライン積み上げに注力。特に大手企業グループ様へのソリューションアセット提供によりエコシステムを形成し、ARPU向上・リカーリング型収益の拡大に繋げ、業績目標の前倒し達成を目指す。

## Vertical 拡大 (ARPU向上)

- 決済活性化
- 決済業務DX
- 決済コアソリューション
- ☆ 開発中のソリューションアセット

## エコシステムの拡大 (ソリューションアセットの横展開)

